

APEC女性リーダーズネットワーク(WLN): 1996-2010!

アンドリーナ・G・リーバ,
リーバ・エンタープライズ社長,
WLN共同創設者・元共同議長

1

WLNの本質

グローバル化が女性に損害を与えていると言われるのだとしたら、それは準備が整っていないからです。

私には可能性が見えます。

どうすれば沈むことなくこの波に乗ることができるのでしょうか。

・・・より大きな世界とは女性がよりチャンスを得られる世界なのだと思います。

ムハマド・ユヌス,

State of the World Forum共同議長

2

認識を高める!

- 経済成長は女性の活躍によって達成されるのです。中国でも、インドでも、インターネットでもありません。(エコノミスト, 2006年4月)
- 女性の経済活動の機会を広げるためのビジネスのケース、それはスマート・エコノミクス(世界銀行グループ, 2006年9月)

3

初期の重要な支援者

- フィリピン - 1996年開催国、NCRFW (フィリピン女性の役割国家委員会)
- カナダ - カナダ国際開発庁(CIDA)による資金援助
- ユニフェム(UNIFEM)

4

1996年 マニラ

- 1996年、APECエコノミーのシニア女性リーダーたちによるネットワーク
- 「持続的成長と公正な発展のための男女共同参画、貿易と投資の自由化そして経済・技術協力」
- 60名の招待された女性リーダーのみが参加

5



6

目的

- APECの決定や政策策定プロセスにおいて、女性の懸念や強い希望が反映され、女性の関与が確保されるための方法を模索し、戦略を構築する

7

具体的には:

- アジア太平洋地域における女性の地位向上のため地域の協力関係を築く
- 人材育成及び地域の持続的成長と公正な発展の追求において、ジェンダーの視点が組み込まれるような枠組みを構築する

8

前項の続き

- パートナーとして活動し、APECにおいてジェンダーの視点から問題を特定することができる専門家の集まりを組織する
- 参加者がAPECとその構造や可能性を最大限に引き出す方法に精通することで、政策介入の可能性を見出す

9

課題...行動への呼びかけ

- ジェンダーはAPECにおいて横断的なテーマであることを認識し、これを統合する
- この目的を達成させるためのメカニズムを解明するため、本ネットワークと協力関係を築く
- APECの展望、目標、そして行動計画の遂行に向けて、本ネットワークは柔軟な諮問フォーラムであり、戦略的なパートナーであることを認識する

10

1997年 オタワ-ハル

- APEC女性リーダーズネットワーク(WLN)と呼ばれるようになる
- 「APEC地域における女性の経済的インパクト」
- ユゲット・ラベル, CIDA長官, 共同議長
- ローナ・マースデン博士, ヨーク大学学長兼副総長, 共同議長
- アンドリーナ・リーバ, リーバ・エンタープライズ社長, 共同議長

11

1997年 オタワ-ハル

- APEC加盟の18エコノミー(当時)のうち16エコノミーの代表として招待された女性リーダー200名
- 企業スポンサー(パートナーとして)
- 政府大臣4名
- APECに反対する抗議者-我々は到着した!
- マスコミ報道!
- 早朝から深夜まで!

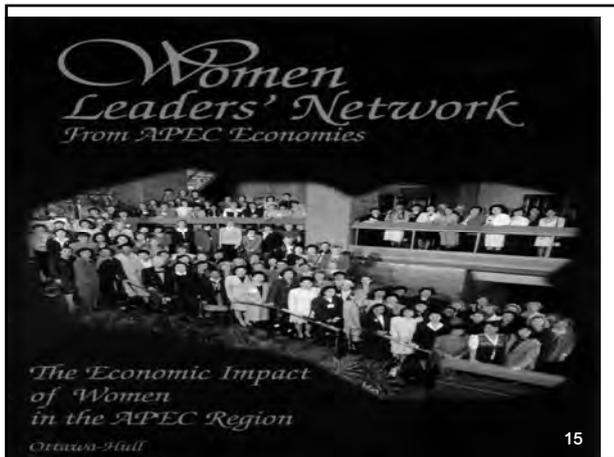
12



13



14



15

宣言

- 「行動から実施へ」
- 包括的な提言
- 中小企業(SMEs)
- 学界
- 科学技術

16



17

WLN 開催国

- 1998 - マレーシア
- 1999 - ニュージーランド
- 2000 - ブルネイ
- 2001 - 中国
- 2002 - メキシコ
- 2003 - タイ
- 2004 - チリ

18

WLN 開催国

- 2005 – 韓国
- 2006 – ベトナム
- 2007 – オーストラリア
- 2008 – ペルー
- 2009 – シンガポール
- 2010 – 日本

19

構造

- 多部門アプローチ
- ハイレベルのコミットメント
- 開催国・地域のコミットメント
- APEC事務局の役割
- WLN参加者の継続的なコミットメント
- APECの構造を採用: 過去, 現在そして将来の議長との連携

20

成果!

- APEC首脳の支援により始動
- 意識づくり
- 15年間の会合
- 2回の女性問題担当大臣会合
- ジェンダー統合に関するアドホック・アドバイザリーグループ(AGGI)
- ジェンダー研修/男女共同参画担当者ネットワーク(GFPN)
- アジア太平洋女性情報ネットワークセンター(APWINC)

21

さらなる成果!

- 経済協力開発機構(OECD)においてベスト・プラクティスとして認識
- 大臣たちへのアクセス
- 4500名以上に及ぶ女性の参加と教育
- 1999年 先住民女性の輸出ビジネスセミナー(IWEBS)
- 「先住民女性によるユニークな貢献」の認識(1999年, ニューージーランド)
- 中小企業作業部会(SMEWG)に零細企業サブ作業部会(MESWG)を設置
- 新しい零細企業開発プロジェクト

22

引き続き取組むべきこと!

- 継続的な成長
- 継続性の構築
- 次世代の指導
- 高い影響力を持つ女性の確保
- 他団体との連携
- 主要なアーカイブの作成
- APECに活を入れる!

23

ビジョン

- 過去の成果を基に発展する
- 事務局を設置する
- 全ての部門を活気づける
- 実践可能な目標設定を行う
- チームを構築する
- 次世代を歓迎する
- 夢を持ち続ける!

24

連携

- 多くの貴重な資料が入手可能
 - 世界経済フォーラム(WEF) ジェンダー・ギャップ報告書
 - 世界銀行Doing Business(ビジネス環境の現状)報告書
 - 国連の女性に関する世界調査
 - 世界の起業家精神に関する調査(GEM)

25

2010年 日本における優先事項 チェンジ・アンド・アクション

- 地域経済統合(REI)の促進
- 新たな成長戦略の考案
- 人間の安全保障の強化

26

WLN の今後の方向性

- 2011 – 米国にて開催
- 2012 – ロシアにて開催
- 2013 – インドネシアにて開催
 - 関心を集める
 - 確実に「あなた」に参加してもらうためにはどうすべきか
 - どうしたらIWEBSをリポートできるか

27

展望

- 混沌とした時代
- 女性には役割がある
- これまで以上に今が大事
- 私たち全員がWLN!

28

締めくくり – 引用文

- 「彼女たちはそれほど苦しむことはありません。なぜなら、彼女たちは他の女性たちと統合し力を合わせ、支援を確立し、ネットワークを構築して、最終的には自分自身が向上していくのですから」(Earth News, Rabya Nizam)

29

そして、これを読むと...

- 「不平等の問題は主としてグローバル化をめぐる議論に関連します。問題の核心は、豊かな国と貧しい国、そして国内の異なるグループ間におけるグローバリゼーションがもたらす利益の共有にあります。」
Amartya Sen

30

ありがとうございました!

